

1年間の闘いの成果 に確信も固く

今日「603」決戦へ

日刊 動労千葉

85. 9. 11

No. 2036

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

第2日目
(午前)

熱気あふれる討論で 「経過報告」を満場一致で確認

大会速報
No.2

動労千葉第10回定期大会は2日目の午前中に、前日提案された「経過報告」に対する質疑応答がおこなわれ、活発な討論を通して満場一致で確認した。

「603」ダイ検「名札」55年予算

「答申」明確な対決方針を「察費」…等々、豊富な闘いの教訓

大会第2日目の議事は10日の9時に再開され、冒頭に大畑議事運営委員から檄電・メッセージの紹介をうけ、直ちに昨日提案された「一般経過報告」についての質疑応答に移った。

8名の代議員から、厳しい情勢の中で一年間熾烈な闘いを展開してきた立場から、次の意見・質問が出された。

山下 幸（津田沼支部・電運士44）
・「603」ダイ改では動労千葉が唯一、非協力安全確認闘争を闘いぬいたが、厳しい情勢の中で今後も日常的な非協力・安全確認闘争を指導してほしい。

い。

渡辺和志男（勝浦支部・電運士40）
・当局は「603」でダイ検をさせないなどいって来たが、今後の「ダイ改」でダイ検をやれるのか。

・当局は団交確認事項を反古にしたうえに、組合との間で確認した以外のことまで個人に強制しようとしてあり許せない。当局の意のままにならないためにも現場を指導してほしい。

川崎昌浩（津田沼支部・運修26）
・名札拒否闘争を国労の仲間と共に闘いぬき、今までの力を打ち破る闘いとして大きな成果をかちとってきたが、10万人首切り粉碎闘争として徹底的に闘おう。
・永島・行川君へのパージ攻撃は思想、団結をくずす攻撃であり、2人を奪還するまで闘いぬく。

鶴岡直芳（勝浦支部・電運士41）
・83名の「名札闘争」を孤立させないために外周区は「ワッパン闘争」を闘うべきであった。本部の指示でいつでも行動がとれる体制をつくらう。

白井忠博（幕張支部・検査44）
・動労千葉の闘いか他労組を主導してきたが、「答申」以降、組合員の中に不安や動揺も見られる。今こそ頼れる労働組合としての方針を打ち出す必要がある。

・「支部代表者会議」は、規約上、機関

裏面へ



「自らの闘いで国鉄労働者の明日をきりひらこう！ 未曾有の国鉄労働運動解体攻撃粉碎！ 反動・中管根内閣打倒へ、国鉄と三里塚を基軸に全労働者の怒りを結集し総反撃にうつて出よう！」

開催ではないと思うが、整理すべきでは…。

・55年予科生の電車運転士・検査係合格者について、早急に発令を取り組んでほしい。

高橋 正（成田支部・電運士・27）

・「通勤対策」要員の差しかえの際に、当局は名札問題、成田が勤務千葉だからという差別を行ったのではないか。

松崎 靖（新小岩支部・機関士・56）

・都議選での社会党の敗北を大変な事態としてうけとめなければならぬ。

・中曽根のやっていることはあかしいと言いつつ、労働組合が明確な方針を出すことを求めてあり、正念場を迎えた今こそ、「一人ひとりが活動家に！」が問われ続けている。

清水 匠（事務分科・新小岩・30）

・昨年大会以降、察費値上げ反対の闘いを、「不払い」の更力行使をも含めて当局の切り崩し攻撃をはね返して闘い一定の成果をかちとってきた。この一年間の闘いを教訓化し、これからの闘いの中に生かしていこう。

以上の意見・質問に対し布施書記長から具体的答弁が行われ、「経過報告」は満場の拍手で確認された。

一九八五年度運動方針(案)を布施書記長が提起

つづいて「大会延期」「決算」「犠牲者救済規則ならびに総合共済規則適用について」が承認され、いよいよ「一九八五年度運動方針(案)」が布施書記長から提案された。提案の後、午前の部の最後に来賓の方よりのあいさつをうけた。

来賓よりの御挨拶 社会党・市川福平県議

社会党の市川福平県議は、「いま、重大な方針提起を聴いて、身の置きしまる思いがした。臨調・行革、国鉄労働運動解体攻撃との闘いは妥協を許さぬ闘いだ。署名運動を体当りで完遂しよう。中曽根打倒なしに平和と民主主義は守れない。共に闘おう」とあいさつされた。

東京実行委・長谷川英憲氏

また、東京実行委員会の長谷川英憲氏は「中曽根に怒りをもたない民衆は誰一人いない。真剣に訴えれば民衆は必ず立ち上る。民衆は国鉄労働者は政治の反動化と闘うと信じ注目している。先頭にたって闘う労働者をすべての民衆が支持するだろう。中曽根を打倒する戦列に皆さんとともに立ちたい」と決意を述べられた。

△大会速報第二報・おわり▽

誰もが、国鉄労働者は必ず立ち上ると信じ、注目し、期待している。そして、必ず、後に続いて立ち上る…。



大会にかけて下された各界の多くの来賓の方々。

(第一日目より)